

湖北

鉄道ファンらに惜しまれながらも運行終了となった観光



S L 北びわこ号の勇壮な姿が並ぶ写真展

鉄道ファンらに惜しまれながらも運行終了となった観光

機関車がけん引した。

展示された写真は約40点。

「北びわこ号」はJR北陸本線米原（米原市）―木ノ本（長浜市）間を結び、1995年8月に運行を開始。春秋の観光シーズンを中心に蒸気機関車がけん引した。

【長浜通信部・長谷川隆広】

「守りたい！大切な命」市防火保安協会が啓発

長浜

配布されている「防火・防災啓発ポスター」



【長浜通信部・長谷川隆広】

とされている。

「コロナ禍が早く収まり、火災もなくなるように、ポスターを見て常に予防や防火の意識を持つてもらえれば」

同協会事務局では

「コロナ禍が早く収まり、火災もなくなるように、ポスターを見て常に予防や防火の意識を持つてもらえれば」

とされている。

同協会事務局では

「コロナ禍が早く収まり、火災もなくなるように、ポスターを見て常に予防や防火の意識を持つてもらえれば」

とされている。

同協会事務局では

「コロナ禍が早く収まり、火災もなくなるように、ポスターを見て常に予防や防火の意識を持つてもらえれば」

とされている。

同協会事務局では

「コロナ禍が早く収まり、火災もなくなるように、ポスターを見て常に予防や防火の意識を持つてもらえれば」

とされている。

同協会事務局では

「コロナ禍が早く収まり、火災もなくなるように、ポスターを見て常に予防や防火の意識を持つてもらえれば」

とされている。

同協会事務局では

「コロナ禍が早く収まり、火災もなくなるように、ポスターを見て常に予防や防火の意識を持つてもらえれば」

とされている。

同協会事務局では

「コロナ禍が早く収まり、火災もなくなるように、ポスターを見て常に予防や防火の意識を持つてもらえれば」

とされている。

同協会事務局では

「コロナ禍が早く収まり、火災もなくなるように、ポスターを見て常に予防や防火の意識を持つてもらえれば」

とされている。

同協会事務局では

「コロナ禍が早く収まり、火災もなくなるように、ポスターを見て常に予防や防火の意識を持つてもらえれば」

とされている。

同協会事務局では

「コロナ禍が早く収まり、火災もなくなるように、ポスターを見て常に予防や防火の意識を持つてもらえれば」

とされている。

同協会事務局では

「コロナ禍が早く収まり、火災もなくなるように、ポスターを見て常に予防や防火の意識を持つてもらえれば」

とされている。

同協会事務局では

「コロナ禍が早く収まり、火災もなくなるように、ポスターを見て常に予防や防火の意識を持つてもらえれば」

とされている。

同協会事務局では

「コロナ禍が早く収まり、火災もなくなるように、ポスターを見て常に予防や防火の意識を持つてもらえれば」

とされている。

同協会事務局では

「コロナ禍が早く収まり、火災もなくなるように、ポスターを見て常に予防や防火の意識を持つてもらえれば」

とされている。

同協会事務局では

湖東

彦根

赤こんにやくの新製品
山中商會が「赤備え」にちなみ

彦根市芹橋2のこんにやくメーカー「山中商會」が赤こんにやくの新製品「鉄之介ちやく」を発売した。4月に初当選した和田裕行・彦根市長は、彦根藩井伊家の軍装「赤備え」にちなんだ街おこしを検討している。これを受けて同社の山田順彦（としひこ）社長（65）がより滑らかな舌触りと、豊富な食物繊維を特徴とする赤こんにやくを開発した。ネーミングは幕末の老も務めた井伊家13代直弼の

幼名にちなんでいるという。和田市長が今後開く予定の「赤まつり」で、タイアップ商品として販路を広げたいという。1袋320gで希望小売価格は250円。袋の裏面にはQRコードを載せており、赤こんにやくを使ったさまざまな料理例を配信していく。問い合わせは山中商會（0749・22・1053）。

【彦根通信部・伊藤信司】



山中商會が新発売した赤こんにやく＝同社提供

「はぴとも基金」ロゴマーク公募で決定

彦根

彦根市社会福祉協議会（磯谷直一会長）は「子どもの幸せ応援基金（はぴとも基金）」のロゴマークを発表した。同基金は今年度創設され、ロゴマークのデザインを公募したところ44点の応募があった。その中から、三つのハートが寄り添ってほほえむ小堀智恵美さん（彦根市）の作品が選ばれた。小堀さんからは同社協に「子どもたちが明るい笑顔で過ごせる地域であってほしいです」とのメッセージが寄せられた。はぴとも基金には今年7月末現在で計32件、131万円の



寄付が集まっている。①クラウドファンディング②子ども用品、学用品の再利用③フードバンク活動―などに取り組む子ども支援団体に年間最大5万円を助成する。寄付や助成に関する問い合わせは電話（0749・22・2821）、Eメール（hapitomo@hikone-shakyo.or.jp）。

【彦根通信部・伊藤信司】